

有効期間満了：2013年8月26日

案件名	CO ₂ の排出量ゼロビルディング&オフィス						
申請者	大成建設株式会社						
案件の概要	<p>弊社所有の2施設を、独自の省エネ技術によってCO₂排出量を削減しています。リニューアルした技術センター本館は、東京都省エネカルテによる標準ビルに比べてCO₂排出量を35%削減し、最先端省エネ建物（スーパーエコビル）である大成札幌ビルは、省エネ法における標準ビルに比べて49%の削減を達成しています（2008年度実績データ）。2010年度に上記2施設から排出されるCO₂合計800トンを京都クレジット（CER）を使ってオフセットし、「CO₂の排出量ゼロビルディング&オフィス」とします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>商品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>技術センター本館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>大成札幌ビル</td> </tr> </tbody> </table>	No.	商品名	1	技術センター本館	2	大成札幌ビル
No.	商品名						
1	技術センター本館						
2	大成札幌ビル						
認証区分・タイミング	I-3（自己活動オフセット） オフセット済み認証						
カーボン・オフセットの主体（帰属先）	申請者						
算定範囲	<p>*技術センター本館（地上：4階/地下：1階）で使用した電気、ガス、灯油 *大成札幌ビルで使用した電気</p> <p>大成建設占有部分（地上4-8階の空調・照明等、エレベータ2基）と共有部分（地上1-3階ろうか等の空調・照明等、エレベータ1基・駐車場の搬送機械、B1階給排水設備等）使用した電気、敷地内融雪用で使用した電気</p> <p>いずれも2008年度実績値より算定 期間：2010年4月1日～2011年3月31日</p>						
オフセット量 / 算定排出量	800t / 技術センター本館：427.8t、大成札幌ビル：367.6t						
クレジット種別	京都クレジット（CER）						
プロジェクト名	ブラジルサンパウロ州パウリニアにおける亜酸化窒素排出削減プロジェクト						
無効化日	平成22年4月15日						
情報公開	<p>【カーボン・オフセットの仕組みの説明】</p> <p>カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。（*1）</p> <p>【地球温暖化対策の喫緊性の説明】</p>						

地球温暖化は、気象現象への影響、海面上昇のみならず、生態系・自然環境への影響、社会への影響も大きいと考えられます。地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出削減のために、事業者による商品の製造・運搬・使用・廃棄時の省CO₂化及びサービスの省CO₂化の促進が求められています。(*2)

【カーボン・オフセット商品等提供主体の削減努力】

ISO14001の認証を取得し、グリーン購入、グリーン調達を行っています。また、チャレンジ25キャンペーンに参加し、クールビズ、ウォームビズ、ライトダウン・キャンペーン2010やエコキャップ推進運動等に取組んでいます。

【オフセットの対象とする活動、期間、人数、距離等】

弊社所有の2施設の運用時におけるCO₂排出量を、独自の省エネルギー技術によって削減しています。リニューアルした技術センター本館は、東京都省エネカルテによる標準ビルに比べてCO₂排出量を35%削減し、最先端省エネ建物（スーパーエコビル）である大成札幌ビルは、省エネ法における標準ビルに比べて49%の削減を達成しています。

2010年度に上記2施設からの運用時に排出量されるCO₂合計800トンを経済産業省の京都クレジット(CER)を使ってオフセットし、「CO₂の排出量ビルディング&オフィス」とします。

◇対象施設と範囲

①技術センター本館（横浜市）

地上：4階/地下：1階のビルで使用した電気、ガス、灯油によるCO₂排出量

②大成札幌ビル（札幌市）

大成建設占有部分（地上4-8階の空調・照明等）の使用電気と共用部分（地上1-3階ろうか等の空調・照明等）で使用した電気、敷地内融雪用で使用した電気によるCO₂排出量

◇対象期間：2010年4月1日から2011年3月31日

【対象とする活動に伴う排出量とオフセット量】

排出量：800t、オフセット量：800t

【算定の根拠としたガイドライン名または算定式等】

カーボン・オフセットの対象活動から生じるGHG排出量の算定方法ガイドライン（ver.1.1）

【クレジットの種類】 京都クレジット（種類：CER）

【クレジットの認証プログラム（制度）名】 日本政府承認CDM/JIプロジェクトNo.223

【クレジットの調達状況】 2010年4月6日に調達済み

有効期間満了：2013年8月26日

<p>【クレジットの無効化方法】2010年 4月15日に無効化</p> <p>【クレジット調達期限・通知方法】</p> <p>【プロジェクト名】ブラジルサンパウロ州パウリニアにおける亜酸化窒素排出削減プロジェクト</p> <p>【プロジェクト実施国・実施地域】ブラジルサンパウロ州パウリニア</p> <p>【プロジェクトタイプ】化学工業</p> <p>【プロジェクト概要】</p> <p>本プロジェクトは、アジピン酸製造時に放出される亜酸化窒素の熱分解工場を設置することです。パウリニアのアジピン酸工場のベースラインはCO₂換算713万トン/年となります。熱分解工場プロジェクトによるCO₂削減量は、596万トン/年と予想されます。</p> <p>【プロジェクト期間】2007年から7年間</p> <p>【プロジェクトの排出削減・吸収量】596万t/CO₂/年 排出削減</p> <p>【カーボン・オフセットの取組み】</p> <p>活動開始日の2010年4月1日～カーボン・オフセット認証取得までの期間で、本取組みについての変更はありません。</p> <p>(*1) 環境省 HP より</p> <p>http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html</p> <p>(*2) 環境省 HP 「STOP THE 温暖化 2008」より</p> <p>http://www.env.go.jp/earth/ondanka/stop2008/index.html</p>
--